

平成30年9月26日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題	今年も益田市飯田地区の健康まつりが楽しく開催！ ～農業生産と健康づくりは車の両輪～
-----	--

(ダイジェスト)

9月11日(火)、恒例の飯田健康まつりが「ひだまりパークみと」グラウンド・ゴルフ場で開催され、会員と関係者計54名がスコアを競い合いました。

始まった当初(昭和54年度)はソフトボールでしたが、今では老若男女みんなが楽しめるグラウンド・ゴルフに代わっています。表彰式の後にはお決まりの焼肉パーティーがあり、この日は心も体も、そして胃袋も十分に満たされました。

飯田と言えばメロン、メロンと言えば飯田です。この歴史は昭和48年の試作(アイボリー)から始まり、同52年のアムスメロンの導入以来、「飯田の顔」「島根メロンの顔」として市場で高く評価され、現在に至っています。その一方、当時は重労働により健康を害する者が相次ぎ、特に女性の健康(貧血、腰痛、肩こり)が問題視されていました。

そこで前身の益田農業改良普及所が呼び掛け、昭和52年から4年間、モデル地区として農業者健康モデル地区育成事業(国)に取り組み、飯田健康モデル協議会のもと健康管理活動が始まりました。

40年経過した現在も、「農業生産と健康づくりは車の両輪」とした地域ぐるみでの健康づくり活動(健康診断、健康教室等)は続いており、当地区の発展をしっかりと支えています。

この度、恒例の健康まつりが開催され、会員と関係者が8ホール×3コースの計24コースでクラブを振り、それ以上に仲間同士で巧みな弁舌を振るいながら、心地良い汗を流しておられました。その後もお決まりの焼肉パーティーが開かれ、健康を意識しながら、大いに盛り上がりおられました。

当時、健康管理を目的に始まったこのまつりですが、今では誰でもプレーできるグラウンド・ゴルフに代わったことで、地区の老若男女が多数参加し、縦と横と斜めの絆を深める貴重な場にもなっています。

昨今、普及組織では集落営農ビジョンづくりを支援していますが、今後はこうした活動も提案しながら、「農業生産+健康づくり」が世代間で円滑に継承されるよう関わっていきたく考えています。



ナイスショット？